

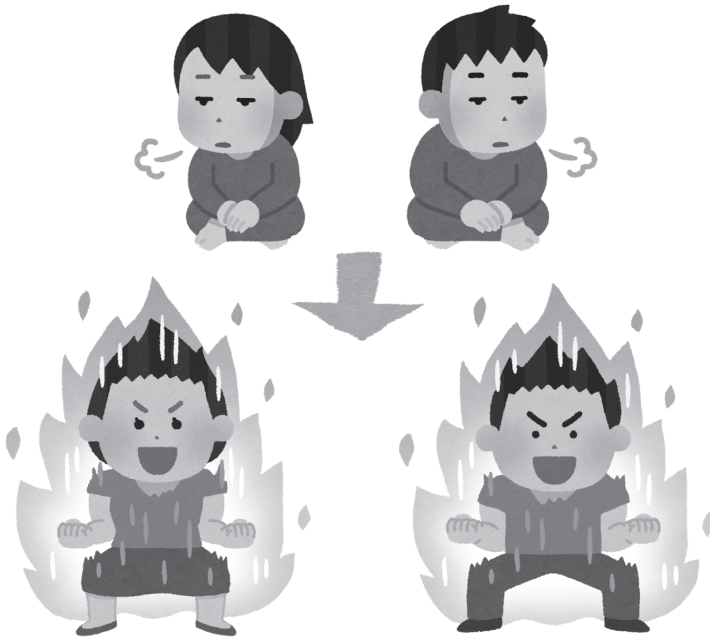
編集・発行
障害福祉サービス事業所
あるむ
〒242-0003
大和市林間 2-20-26
TEL.046-275-9520
FAX.046-275-9529

あるむの詩

2022年8月発行
第97号
NPO法人
共働あるむ

テーマ

あるむで働くようになって 変わったこと



- ★新人紹介
- ★令和4年度総会議案書(抜粋)
- ★あるむ日誌
- ★農園日誌
- ★編集後記

ホームページ：<https://www.alm.or.jp>
メールアドレス：main@alm.or.jp

あるむで働いて

変わったことは

井島 康人

僕はあるむで働いて20年以上になります。仕事の方は最初は紙漉準備をしていましたが、今はカレンダーのちぎり絵をしたり、毎月最終日には、所長から頼まれる事務補助の入力をしています。

僕は仕事を気に入っているし、もう少しスピードをだすために文字の間違いを減らそうと思います。

あるむが大好きです。



あるむで働いてから

変わったこと

四宮 広隆

あるむで働いてから、変わったこ

とは、不安なことと、そうでないことが、交互に来ている気がします。



あるむで働くようになって変わったこと

長田 和子

あるむで働くようになって変わったことといったら一番大きいのが自分が居ていい働く場所が出来た事だ。

あるむで働く前は、発病して熱海に居た頃は、私の居場所がないからという事で弟が当時働いていた仕事を辞め、ビリヤード場をやるといきなり言いだして、ビリヤード場を始めた。しかし売上が悪くなり、ビリヤード場は、弟と母でやるから私はいらぬと言われ、旅館で働いてみたものの、一年しか続かず、家にひ

きこもる日々となった。

心機一転、大和に引越してきてからは、入院中、弟に言われた言葉を胸に、一年コンビニで働き、三年郵便局で働いたものの、当事者として、自分の居場所とは言えないもので怯々と日々を過ごしてデイケアを二つ変え、窓の方にあるむがいいのではないかと言われ、たまたま受けた時に畑の人を募集していて、畑班として作業所に通える様になった。作業所で働くのは初めての経験で、八年何か月になるが、その間作業所に入った中で一番心配されていた入院はしなくなった。弟が亡くなったからと母の闘病中は、お休みを頂いたが、入院したいとか入院しなければいけないとかそういう事はなくなった。

それもこれも作業所のスタッフさんメンバーさんのお陰で、いつでも嫌な顔もせず話を聞いてくれる、スタッフの方や、休んで間を空けて出勤してもいつもと変わらず温かい心

で接してくれるメンバーの皆さんのお陰です。

それ以外にも私によくして下さる皆様の温かさのお陰で色々な事があっても、なんとか今、作業所に通えています。

最初に話した、自分が居ていい働く場所が出来たというのは、多分あるむだからそう思えた様な気がします。色々、働いてはみたものの、長期休暇をとる事が多く、仕事を入院で辞める事が多かった私にとってあるむは本当にありがたい職場だとつくづく考えさせられます。今、給料計算やら牛乳パック洗いやら事務補助やら、膝が悪くなり座つてする仕事しか出来ないが、熱海にいてひきこもつていた頃の私に、引越して、あるむに出会えて本当によかったネと言つてあげたいです。

あるむで働くようになってから、私を支えて下さっている色々な方々にいつか恩返しが出来たら幸せだと思ふ今日この頃である。

あるむで働くようになって

小泉 佳子

あるむで働きだしてから10年になります。はじめは緊張しました。紙すき準備をやったり、色々な仕事をやってみて勉強になりました。今は楽しく働くことができます。



あるむで働くようになって変わった事

落合 輝幸

僕はあるむで働く様になってから、自信ができました。食費を考えて使つたり、生活や娯楽のお金などもしっかりと管理していく経済観念が身につきました。京都に新幹線で一人旅する事もでき、その経験は大き

かったです。

また、デザインソフトの使い方を教えて頂き、その機会と指導についても、とても感謝しています。

これからは、培つた事と、好きな音楽を活かして、世の中に貢献していきたいと考えています。



あるむに来て変わったこと

池田 孔一郎

僕があるむに来て変わった事は牛乳パックをはがして柔らかいのが採用されて、かたい物が不採用にされるといふ作業を繰り返して、シュレッダーをされて細かく小さくなった紙をまた柔らかい物とかたい物を選別して、次に紙すきという新たな和紙やハガキを作り出すという事を学ばせてもらいました。

あるむに入って変わったこと

伊津井 暁彦

あるむに入ってから十三年たちましたが、変わったというより、昔、わずか約五年ですが、正社員で働いていた頃の、考え方や自分なりの信念みたいなものが、最近になって、思い出されてきた感じがするのです。

もちろん、症状などもありますし、以前の健常者の時代とは違います、が、なんというか、現在の自分の行動、ふるまい等に、病気になる前の気力が戻ってきた感じがします。だから、毎日がとても、やりがいに充ちています。

これは、今月八月で、出会ってちょうど二十年になる妻が支えてくれたおかげと、僕に関わってくれて、刺激をあたえてくれた、縁したすべての方々のおかげです。

感謝の気持ちでいっぱいです。

ありがとうございます。

あるむに働くようになって変わったこと

大木 樹暁

ほかがあるむに来て変わったことは、ひとりぐらしのことが全部できたこと。そして、まだ完全じゃないことは仕事のことです。

新人紹介

新しくあるむに働く事になった、大木樹暁です。

趣味は、バイクに乗るのが趣味です。

あるむで、がんばって働きたいと思ってます。よろしくお願ひします。

大木 樹暁

「働く」が生活のリズムを刻んでくれた

Y・M

今回のあるむの詩について過去を振り返ってみると、仕事を見つけてのまでは、当然、見学等以外、時間を気にしなくて良い状態で、お客さんから注文が入るわけではないので二ーズがなく、何もやる気が起こらず、昼夜逆転のような不規則な生活はしていませんでしたが、面白みも何もない生活をしていました。時には様々なこともあり、辛い状態の時もありました。

「あるむ」が決まり、働き出してから、時間の切り分けがでるようになり、それを有効に使おうと、休みの日は趣味に、通所の日は仕事に集中するという、生活のメリハリと気力がようやくよくなりました。そこが働いてからの私の大きな変化です。

今後はメリハリ、気力を大切に、

少しずつ頑張りを、いずれは一般就労を目指したいと思っております。



あるむで、働くようになって、変わったこと

比嘉 修

私は最初、週三日で働いていたけど、今ではみんなと畑に行ったりポスティングしたり、楽しくて、今は週五日でも働くことが出来るようになりました。

あるむに来て七年目になると、所長から聞いて、ちよつとびつくりしました。

でも、これからもみんなと未長く、がんばりたいと思っています。



あるむで働くようになって変わったこと

三上 尚吾

あるむに入ってから二十年以上経ちました。入りたて当時は組版を教えてくれる職員が居なく自分でソフトの使い方と組版知識を仕事で実践しながら覚えないういけなかつたので大変でした。

前所長の友人が教えて下さる時もありましたが、ほぼ自分で覚える必要がありました。二十年前は今と違いインターネットが普及していなかつたので専門書を買ってソフトの操作は覚えました。

こんなに勉強したのはそれまでの人生で初めてだったかもしれせん。



あるむで働くようになって変わったこと

原 あすか

私はあるむに通って長いですが入りたてと比べて自信と自主性がついたかなと思います。それから嫌なこともありましたが聞いてもらう方がいるのでここまでくることができました。

あるむで働けるようになって変わったこと

関水 溪



新しいメンバーが紙漉班に入ってきました。今は楽しく紙漉きやれています。

あるむに來て変わった事

松浦 大樹

あるむに來て11年が経つて、人
としゃべるのが苦手だったけど、
徐々に色々な人と話せるようにな
りました。また、副代表として責
任感が持てる様になりました。



あるむで働くように なって変わったこと

堀場 敦

2009年4月に正規の職員とな
りました。それまでもボランティア
として週2回ほど参加させていただ
いておりました。ボランティアに参
加していた頃のあるむは神奈川県と
大和市の補助金で運営している障害

者地域作業所で今後について職員会
議で毎回話し合いをしていました。

当時の障害者自立支援法の法内事
業、指定障害福祉サービス、就労継
続支援B型事業所に移行する方針に
なり2010年4月に移行し現在に
至っております。

あるむで働く前はソフトウェアエ
ンジニア、事務職等3社ほど経験し
ました。就労継続支援B型になって
提出資料や事務作業が多く処理が大
変になったのではないかと思います。
データ集計等は何とか前職で
の経験が生かされたのではないかと
思っています。

あるむで働くようになって自分自
身はあまり変わったことはないと思
いますが、世の中のほうが変わって
いて（技術が進んでいる）新しい技
術を勉強しないと取り残されてしま
うような気がします。今後は新しい
技術を取り入れて所員も職員も気持
ちよく仕事ができるようにしたいも
のです。

あるむで働くように なって変わったこと

藤田 路恵

あるむで「障がい」に触れたこと
で、自分自身にもそういった部分が
あることを改めて知ったり、利用者
さんや家族への理解を深めるきつか
けにも繋がり、「自分」という人間
を省みたり、相手への理解を深く考
えることが多くなりました。また、
「畑担当」として入ってきた私ですが、
受け持ちの「畑」自体が無くなって
しまった昨今では、「印刷」という
業種に関わる機会も多くなり、堀場
所長を始め、他の職員方のご協力ご
指導のもと、お陰様で簡単なものな
ら自分でも出来るようになり、様々
なスキルアップに繋がりました。

あるむに入って8年、楽しいこと
ばかりではありませんが、年齢も50
を越えた今でも日々勉強・成長し、
変わっていくと思う今日この頃です。

あるむ日誌

3・16 9時30分からイオンホール大和で職員の健康診断が行われ、4名が参加しました。

3・22 13時から神奈川県労働衛生福祉協会で所員の健康診断が行われ16名が参加しました。16時30分から久しぶりに大和和精神事業所連絡会があるむで行われ、フレッシュゾーン・ボイスさん、パン工房麦の香りさんが参加され、各事業所の様子、4月からの運営規定の件、各委員会の件について話をしました。

3・28 16時30分から保健福祉センター1階カフェ・スプリンティノで会議が行われ、堀場が出席しました。

3・30 一般社団法人大和綾瀬歯科医師会副会長でおまた歯科医院の小俣先生からお菓子をいただきました。いつもありがとうございます。

4・1 今日から新年度です。今年度はいろいろな行事ができると思いますね。

4・4 井島芳樹さん(所員井島君のお父さん)から寄付をいただきました。いつもありがとうございます。

4・14 小林高雄さんから寄付をいただきました。いつもありがとうございます。

4・19 16時30分から大和和精神事業所連絡会を行い、あゆみの家さん、フレッシュゾーン・ボイスさん、パン工房麦の香りさん、クロスオーバー大和さんが参加され、各事業所の様子、委員会の分担を決めました。また、大和さくら会の藤本さんと山崎さんが大和市の医療保障アンケートについての話をさせていただきました。

4・21 株式会社北越精機さんからドーナツをいただきました。昼食時に皆でおいしくいただきました。ごちそうさまでした。

4・26 17時から県央障作連所長会議がリモートで行われ、堀場が出席しました。総会について話をしました。

5・10 松浦さんからたくさんのカップ麺を寄付していただきました。ごちそうさまです。

5・21 14時からNPO法人総会が開催され、出席者4名、委任状4名、書面表決11名で第1号議案、第2号議案及び第3号議案が原案通り承認されました。

5・23 大岡良二さんからお菓子をいただきました。ごちそうさまです。16時30分から保健福祉センター1階カフェ・スプリンティノで会議が行われ、堀場が出席しました。

5・24 16時30分から大和和精神事業所連絡会が行われ、フレッシュゾーン・ボイスさん、パン工房麦の香りさん、クロスオーバー大和さんが参加され、各事業所の様子、虐待防止委員会、感染症対策委員会及び事業

2021年度事業報告書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

特定非営利活動法人 共働あるむ

1 事業の成果

(1) 「就労困難な障害者に対して、共に協力して運営し豊かな職業生活をするための福祉的就労の場を提供し、障害福祉の増進を図り、広く公益に寄与すること」とする当法人の「目的」(定款・第3条)を達成するために、神奈川県・大和市行政当局のご指導ご協力の下、市内他事業所および神奈川県障害者地域作業所連絡会をはじめ、社会福祉協議会や福祉団体連合会さらに地域の自治会などの諸団体との交流・連携・共同を通して、福祉的就労と障害福祉の一端を担うことができました。

2022年3月31日現在正会員31名、賛助会員67名

(2) 障害福祉サービス事業所あるむは、「自分の力で働いて、お金を得て、生活して行く。そんな当たり前のことを、障がいのある者と障がいのない者が共に力をあわせてやってゆきたい」という理念に賛同し「あるむ」の活動に参加する障がい者を所員とし、所員の援助者として「あるむ」に参加する者を職員として、印刷事業、和紙製造、農作業への取り組みを行いました。

(3) 指定障害福祉サービス(就労継続支援B型)事業所への移行から12年が経過し2回目の指定更新となります。登録者は26名で平均出勤率は約12.64名となっております。印刷事業は神奈川県や大和市の受注もあり前年を上回っており、紙漉作業は安定した製品づくりのための人材育成を行っています。引き続き農作業は農業従事者のお手伝いという形で活動を行っています。

(4) 防災用品の整備、避難訓練も行っていますが、南海トラフ地震、首都直下地震への備えもしてまいります。相変わらず先の見えない新型コロナウイルス等への対応も継続して行っています。

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 障害福祉サービス事業所あるむの運営に関する事業

- ・内容 就労困難な在宅障害者に対して福祉的就労の場を提供する。
- ・日時 通年
- ・場所 大和市林間2-20-26
- ・従事者人員 4人(常勤職員4)
- ・対象者 就労困難な障害者 20人(定員) / 26名(在籍)
- ・支出額 40,084,405円

活動計算書

特定非営利活動に関わる事業会計

2021年4月1日から2022年3月31日

特定非営利活動法人 共働あるむ

科 目	金額(単位:円)		備考
I 経常収益			
1 受取会費			
正会員受取会費	145,000		29×5000
賛助会員受取会費	120,000		60×2,000
受取入会金	0	265,000	
2 受取寄附金			
受取寄附金	206,418	206,418	年末助け合い50,000は廃止
3 受取助成金等			
受取地方公共団体助成金	96,427		大和市新型コロナウイルス対策中小企業臨時給付金
訓練等給付費収入	20,243,645		
受取地方公共団体補助金	1,440,000	21,780,072	大和市家賃支援補助金
4 障害福祉サービス事業収入	14,494,834		
印刷事業収入	14,494,834	14,494,834	
5 その他収益			
受取利息	32		
雑収益	183,068	183,100	
経常収益計			36,929,424
II 経常費用			
1 障害福祉サービス事業費			
(1) 人件費			
人件費	4,073,455		所員賃金(通所交通費、福利厚生費含)
人件費計	4,073,455		
(2) その他経費			
原材料費	3,255,734		
外注加工費	3,098,563		
減価償却費	1,240,459		
その他事業費	350,017		通信運搬費、修繕費、旅費交通費、租税公課、支払手数料等
その他経費計	7,944,773		
事業費計		12,018,228	
2 管理費			
(1) 人件費			
人件費	21,048,846		職員賃金(通勤費、法定福利費、福利厚生費含)
人件費計	21,048,846		
(2) その他経費			
消耗品費	371,032		
水道光熱費	547,095		
地代家賃	3,884,965		
減価償却費	471,310		
保険料	207,055		
租税公課	504,100		消費税等481,400/償却資産税118,700
接待交際費	0		
その他管理費	1,031,774		会議費、旅費交通費、車両費、通信費、修繕費、諸会費、支払手数料、車両燃料費等
その他経費計	7,017,331		
管理費計		28,066,177	
経常費用計			40,084,405
当期経常増減額			▲3,154,981
III 経常外収益	0		
固定資産売却益	0		0
経常外収益計			0
IV 経常外費用			
固定資産除・売却損			187,564
過年度損益修正損			187,564
過年度損益修正損			0
経常外費用計			187,564
税引前当期正味財産増減額			▲3,342,545
当期正味財産増減額			▲3,342,545
前期繰越正味財産額			17,121,093
次期繰越正味財産額			13,778,548

2022年度事業計画書(案)

2022年4月1日から2023年3月31日まで

特定非営利活動法人 共働あるむ

1 事業目的

「就労困難な障がい者に対して、共に協力して運営し豊かな職業生活をするための福祉的就労の場を提供し、障害福祉の増進を図り、広く公益に寄与すること」とする当法人の「目的」(定款・第3条)を達成するために、特定非営利活動に係る「障害福祉サービス事業」として、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(障害者総合支援法)に基づく障害福祉サービス事業所あるむの運営を行う。

2 事業方針

「自分の力で働いて、お金を得て、生活して行く。そんな当たり前のことを、障がいのある者と障がいのない者が共に力をあわせてやってゆきたい」というあるむの理念・目的に賛同し「あるむ」の活動に参加する障がい者を所員とし、所員の援助者として「あるむ」に参加する者を職員とし、NPO法人共働あるむのさらなる発展をめざすとともに、こうしたあるむの活動への賛同者・支援者・協力者を募り、NPO法人共働あるむの会員拡大に努めます。

第一に、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(障害者総合支援法)の障害福祉サービス事業所に移行して12年が経過し、2回目の指定更新を行いました。職員には積極的に研修に参加してもらい、資質向上に努めます。

第二に、印刷部門では新型コロナウイルスの影響が続く中で減少した売上の回復を目指します。紙漉作業では引き続き商品開発・販売体制の強化に努めます。農作業はなないう畑さんや近隣農家さんの手伝いとして新たな形でスタートしましたが、収穫物を販売できるような体制を目指します。また、新たな分野の作業を開拓するための検討を行います。

第三に、関係機関の協力を得て、希望者は一般就労をめざして支援します。

第四に、防火管理上必要なこともあり、関係機関や自治会等の協力を得て避難訓練、防火訓練を行うとともに研修への参加を計画します。また、防犯管理への取り組みも強化します。

第五に、長引く新型コロナウイルスをはじめとした感染症に対する知識を深め、感染者を出さないよう努めていきます。

3 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 障害福祉サービス事業所あるむの運営に関する事業

- ・内容 就労困難な在宅障害者に対して福祉的就労の場を提供する。
- ・日時 通年
- ・場所 大和市林間2-20-26 サンビレッジ南林間1階
- ・従事者人員 4人(常勤職員4)
- ・対象者 就労困難な障害者(定員)20人
- ・費用見込額 約40,289,000円

② 2022年度活動予算書

活動予算書(案)

特定非営利活動に関わる事業会計

2022年4月1日から2023年3月31日

特定非営利活動法人 共働あるむ

科目	金額(単位:円)		備考
I 経常収益			
1 受取会費			
正会員受取会費	150,000		30×5000
賛助会員受取会費	130,000		65×2,000
受取入会金	5,000	285,000	1×5000
2 受取寄附金			
受取寄附金	200,000	200,000	年末助け合い50,000
3 受取助成金等			
受取国庫助成金	600,000		事業復活支援金
訓練等給付費収入	24,400,000		
受取地方公共団体補助金	0	25,000,000	
4 障害福祉サービス事業収入			
印刷事業収入	14,500,000	14,500,000	
5 その他収益			
受取利息	0		
雑収益	220,000	220,000	
6 研修旅行費個人負担			
研修旅行費個人負担	100,000	100,000	20×5,000
経常収益計			40,305,000
II 経常費用			
1 障害福祉サービス事業費			
(1) 人件費			
人件費	4,780,000		所員賃金(通所交通費、福利厚生費含)
人件費計	4,780,000		
(2) その他経費			
原材料費	3,300,000		
外注加工費	3,000,000		
減価償却費	1,200,000		
その他事業費	534,000		通信運搬費、修繕費、旅費交通費、租税公課、支払手数料等
その他経費計	8,034,000		
事業費計		12,814,000	
2 管理費			
(1) 人件費			
人件費	20,510,000		職員賃金(通勤費、法定福利費、福利厚生費含)
人件費計	20,510,000		
(2) その他経費			
消耗品費	200,000		
水道光熱費	570,000		
地代家賃	3,900,000		
減価償却費	450,000		
保険料	200,000		
租税公課	500,000		消費税等350,000/償却資産税150,000
接待交際費	20,000		
その他管理費	1,125,000		会議費、旅費交通費、車両費、通信費、修繕費、諸会費、支払手数料、車両燃料費等
その他経費計	6,965,000		
管理費計		27,475,000	
経常費用計			40,289,000
当期経常増減額			16,000
III 経常外収益			
固定資産売却益	0		0
経常外収益計			0
IV 経常外費用			
過年度損益修正損			0
貸倒損失			0
経常外費用計			0
税引前当期正味財産増減額			16,000
当期正味財産増減額			16,000
前期繰越正味財産額	13,778,548		13,778,548
次期繰越正味財産額			13,794,548

あるむ農園日誌

いよいよやって来ましたこの季節。雨が降り、気温は上がり、太陽が照り返します。野菜達は「今こそ育ち盛り」と言わんばかりの勢いで伸び始め実を付けて行きます。それは雑草達にとっても同じ事。彼らもまた「育ち盛り」真っ最中なわけで。

お手伝い先の畑でも、膝より上に伸びた草達を相手に、猛暑の中悪戦苦闘している毎日です。例年通り午後から比較的気温の低い午前へ作業時間が移動しましたが、作業時間が短くなり休憩もこまめにとっているとはいえ、場所によっては日陰もなく車からも離れていたりして、炎天下の中の休憩では休憩とは言えない状況です。

また、近年では職員を始めメンバーの平均年齢の上昇に伴い、体力の限界値の低下もみられ、増々作業し難い季節となりました。皆さん身体が第一ですので、無理な参加はされないよう呼びかけています。真夏はやむなく畑へ行くこと自体をお休みにすることもあると思います。それでも「畑へいくのが楽しい」「畑に行きたい」という皆さんの気持ちに沿えるように、今後の畑



のあり方をどうしていくか、その中で皆さんの希望に沿うようなやり方がないものか模索していく事がこれからの課題と考えています。その第一歩として、現在水・木・金のみだった作業日に月曜日も加わることとなりました。



藤田 路恵

継続計画について話をしました。虐待防止研修会は10月移行で年内には行うことが決まりました。

5・27 17時から厚木市市民交流プラザアミューあつぎで県央障害作連総会が行われ、藤田が出席しました。

6・14 ハイゼットの車検を(株)井上自動車さんにお願いしました。

6・20 16時30分から保健福祉センター1階カフェ・スプリンティノで会議が行われ、堀場が出席しました。

編集後記

あるむで働くようになってから、皆さんと会話したりコミュニケーションが出来るようになったことが一番、私が変わったことだと思っています。

私がこのテーマを選んだのは、皆さんもどう変わったか、知りたかったからです。

編集長 比嘉 修